



2011年12月
第5号

発行 社会医療法人 福島厚生会
福島第一病院 内視鏡室

胃瘻あれこれ

～胃瘻の基礎から管理方法まで～

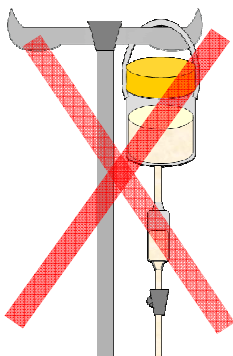
第5号からは、胃瘻に関する日常管理についてお話しします。
胃瘻の管理では、カテーテルに関する管理、胃瘻周囲の皮膚の管理などが必要になってきます。
今回はカテーテルの管理方法についてご説明します。

胃瘻カテーテルの日常管理方法について

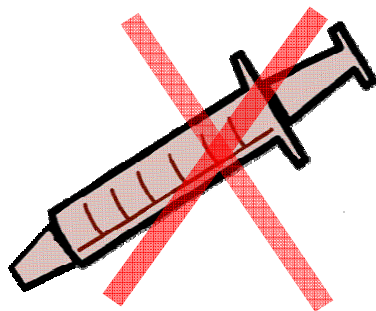
胃瘻カテーテルの日常管理として行わなければならないのは、栄養剤や薬剤を注入した後にかテーテル内の洗浄を行う事です。

カテーテル内は通常、特別な機材で洗う必要はなく微温湯などで管路内を洗い流す事（フラッシングと言います）で対処できます。フラッシングは必要な水分を滴下するのとは別に、注射器で勢いよくカテーテル内へ注入する必要があります。

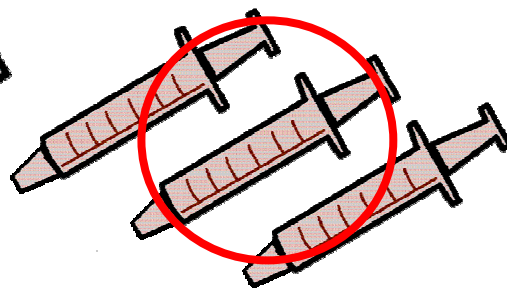
したがって・・・



栄養剤注入後に滴下
で水を流す



50ml などの大きな
注射器で注入する



10ml～20ml の注
射器で注入する

チューブタイプの胃瘻カテーテルでは、体からチューブを外すことが出来ない構造の為汚れが目立ちやすい。そこで、酢水をカテーテル内に貯留して汚染防止にする方法があります（酢ロック）。酢水は酢酸臭があるため気に入らない場合には、クエン酸を溶かした液（10倍希釈）を使用しても同様の効果が得られます。

一方で、ボタン型のカテーテルではチューブ分を取り外せるので、外した後チューブ内を洗浄して、次亜塩素系消毒剤（ミルトン等）へ漬け置きする事で、清潔に保てます。ただし、汚れが目立ち始めてしまった場合には、専用のブラシ（2,000～3,000円）を使用してチューブ内を洗うことが必要になる場合もあります。

胃瘻カテーテルは、普段皆さんが使用するお箸やお茶碗に値するものですので、清潔に保つように心がける必要があります。

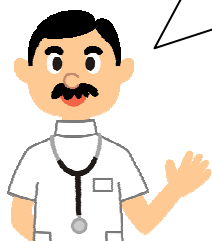
胃瘻に関する問い合わせ

福島第一病院 地域連携室 Tel 024-557-6601

内視鏡室 Tel 024-557-5111 (代) 内線 155

胃瘻についての疑問にお答えします！

Q1：日常のカテーテルの管理をしないとどうなりますか？



A1

胃瘻カテーテルのほとんどの製品はシリコンという素材でできています。このシリコンは、見た目はツルツルした表面に見えますが、実際には小さな凸凹があります。この凸凹に栄養剤や薬剤が付着してしまい、汚れの原因になります。汚れた状態のままですと、最悪の場合カビが出たりします。

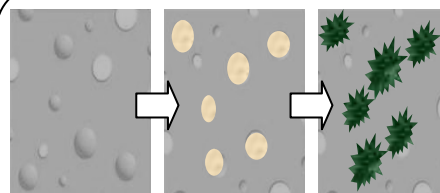
また、ボタン式の場合、逆流防止弁がありますので、その部分に栄養剤や薬剤が固まってしまい『つまり』の原因になります。

つまってしまうと当然栄養剤も入りませんので、胃瘻カテーテルが使用できなくなります。

カビが生えてしまった場合や、つまりがひどい時にはカテーテルを交換する必要があります。



胃瘻カテーテルの表面のイメージはアニメに出てくるチーズのように、ポツポツ穴が開いているような感じです



カテーテル内腔の穴に栄養剤が入ったままだと、カビが生える可能性があります

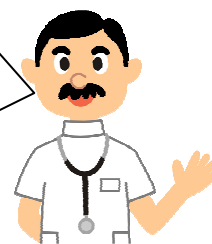
Q2：酢ロックの方法を詳しく教えてください？

A2

酢ロックは、新しいカテーテルに交換したその日から毎食後に行うことが理想です。

酢ロックに使用する酢水は、食酢 1 に対し水 10 で希釈したものを使用します。この酢水を 5ml 程度注射器に吸い入れて、カテーテル内へゆっくり入れていきます。そうすると、チューブ内に酢水が溜まってくるので、そのままチューブ内に酢水を残します。

この酢水は、次回の栄養剤を入れるまで残しておきます。



チューブ内へ酢水を入れる (①)。カテーテルのフィーディングアダプタ部分まで酢水が溜まったらチューブを折り曲げ注射器を外し、キャップを閉める (②、③、④)。折り曲げを伸ばして終了 (⑤)